

令和 6 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立 橘小学校

令和 6 年 4 月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

**【安全・安心な教育の推進】**

○児童会を中心に、「生活ふり返しカード」や「あいさつ運動」に年間を通して計画的に取り組んできた。

○「いじめ（いのち）について考える日」に児童集会を実施して、校内での啓発活動に取り組んだ。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○玄関前に自主学習の成果を掲示し、より多くの児童の目に触れる環境を整えた。

○デジタルドリルを学習の中で活用し、児童にも定着してきている。

○1人1授業の中にリーディングスキルを位置づけ、スキルの育成を意識しながら授業づくりを行うことができた。

○「かけ足週間」「縄跳び週間」「健康週間」「給食週間」をそれぞれ実施することで、児童が健康な生活を送り、望ましい生活習慣を身に付けようとする意識を高めることができた。

**【学びを支える教育環境の充実】**

○学習者用端末は、どの学級も活用できているが、「ほぼ毎日」という頻度にはなっていない。

○スクールサポートスタッフの有効活用により、職員の負担を軽減することができた。

○図書委員会で読書チケットやおすすめ本のプレゼントを実施したり、図書室の本を移動式ラックで各学年の身近に置いたりすることで、児童の読書意欲を高めることができた。

○保護者や地域の方と連携した学習活動を各学年で行い、その成果を学習参観などで発表することができた。

○例年行っている小中連携に加え、今年度は幼小連携の一環として、地域の幼稚園や保育園の園児を本校に招待して、体験的な活動をすることができた。

○児童会を中心に「たちばなまつり」を行い、保護者との連携を深めることができた。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

○令和7年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

○令和7年度小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。

○令和7年度小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を33%以上にする。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに、毎年1ポイント向上させる。

○令和7年度末校内アンケートにおいて、「健康的な生活を心がけている」と肯定的に回答する児童を93%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、令和7年度末において、年間授業日の50%以上にする。（「学習者用端末 月間活用率表」より）

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を、令和7年度末において50%以上にする。

○令和7年度末保護者アンケートの「学校は保護者や地域の願いを受け止めて教育活動を進めている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、90%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を33%以上にする。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より1ポイント向上させる。

○校内アンケートにおいて、「健康的な生活を心がけている」と肯定的に回答する児童を93%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（「学習者用端末 月間活用率表」より）

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を50%以上にする。

○令和5年度の保護者アンケートの「学校は保護者や地域の願いを受け止めて教育活動を進めている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、90%以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式例 2)

大阪市立橘小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b> ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 93%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 ○みんなで楽しく学校生活を送るために、学校のきまりを理解し、守ることができるよう、計画的に取り組む。 ○「生活ふりかえりカード」にて明らかになった問題に関する啓発や、児童による点検活動など主体的に行動できるように計画する。	
指標 ○各学級に「学校のきまり」を掲示し、学期ごとに振り返りや確認を行う。 ○「生活ふりかえりカード」の取組を年間 3 回行う。	
取組内容②【2 豊かな心の育成】 ○すべての教育活動を通じて、「自分も人も大切にすること」を意識し、子どもの自尊感情を高める。 ○いじめを許さない心を育てるために、児童会を中心にいじめ（いのち）について考える日等の集会活動に取り組む。	
指標 ○校内の児童アンケートにおいて「自分には、よいところがあると思う」の子どもの肯定的な回答の割合を 86%以上にする。 ○校内の児童アンケートにおいて「自分も人も大切にしている」の子どもの肯定的な回答の割合を 96%以上にする。 ○いじめに関する代表委員会を中心とした集会活動に年 1 回以上取り組む。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

(様式例 2)

大阪市立橋小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 33%以上にする。 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 1 ポイント向上させる。 ○校内アンケートにおいて、「健康的な生活を心がけている」と肯定的に回答する児童を 93%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<b>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ○毎日の授業や教育活動で、一人一人が自分の考えを発表したり、他の人の考えを聞いたりして、意見を交流する時間を設定する。(ペア学習、グループ学習など) ○児童一人一人の学力や実態に応じたデジタルドリル(navima)の活用を習慣づけ、基礎・基本の定着を図る。	
<b>指標</b> ○校内アンケートにおいて「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の児童の最も肯定的な回答の割合を 50%以上にする。 ○児童がデジタルドリルを週 15 分以上取り組めるようにする。	
<b>取組内容②【5 健やかな体の育成】</b> ○体育の授業や体育的行事や取組等で、児童の体力の向上を図る。特に走力を高める。	
<b>指標</b> ○令和 6 年度の校内の運動能力調査において、3 年～6 年の 50m 走の記録を前年度より 1 ポイント向上させる。	
<b>取組内容③【5 健やかな体の育成】</b> ○バランスの良い食事を心がけて、好き嫌いなく食べようとする意識を高めるように各学級での給食指導や栄養指導を充実する。	

<div> <div>指標</div> <div>○校内アンケートにおいて「(給食を) 好き嫌いなく食べている」の児童の肯定的な回答の割合を 50%以上にする。</div> </div>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	



(様式例 2)

大阪市立橋小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> ○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日 50% 以上にする。 ○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 50% 以上にする。 ○令和 5 年度の保護者アンケートの「学校は保護者や地域の願いを受け止めて教育活動を進めている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、90% 以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<b>取組内容①【6 教育 D X の推進】</b> ・スクールライフ機能を活用し、児童が毎日「心の天気」を入力したり、教職員がミマモルメの「欠席連絡」を日々確認したりすることで、毎日の児童の体調や気持ちについて共通理解し、早期に対応できるようにする。 ・学習者用端末を活用した個人学習（デジタルドリル navima や家庭学習を含む）を週 1 回以上実施する。 ・各学年の児童の実態に応じて、プログラミング学習に年に 1 回以上取り組み、プログラミングに対する意欲を伸ばす。 ・本校の年間計画に沿って、I C T 機器を活用した学習を週 1 回以上実施する。	
<b>指標</b> ・令和 6 年度の校内調査で「学校活動の中で学習者用端末を使用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 70% 以上にする。	
<b>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> ・スクールサポートスタッフを有効に活用できるよう業務依頼を計画的に行い、職員の負担を減らす。 ・「教員としての資質の向上に関する指標」に基づいた、キャリアステージに対応した研修を体系的・計画的に実施する。 ・教員の長時間勤務の解消を通じ、教員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができる環境の実現をめざす。	
<b>指標</b> ・先進的な取組や教職員の希望に応じて全体研修、メンター研修を実施する。(年間全体研修 9 回、メンター研修 5 回) ・会議のスマート化を図ったり、会議の終了時刻を明示することで各自が計画的に仕事を進めたりすることができるようにする。 ・「ゆとりの日」を月 1 回以上設定し、退勤時刻を 17 時にする。学校閉庁日につい	

<p>ては、夏季休業日期间中は4日以上、冬季休業日期间中は3日以上設定する。</p>	
<p>取組内容③【9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域と連携した学習活動を各学年で1単元以上行う。 (1年：春(秋)さがし／2年：町たんけん／3年：福祉／4年：防災／5年：仕事(職業)／6年：歴史)</li> <li>・保護者や地域と連携した児童会行事を年で1回以上行う。(「たちばなまつり」)</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページやミマモルメを活用することで、令和6年度の保護者アンケートの「学校は教育内容を家庭に発信する機会をよく設けている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、昨年度より1ポイント増加させる。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	